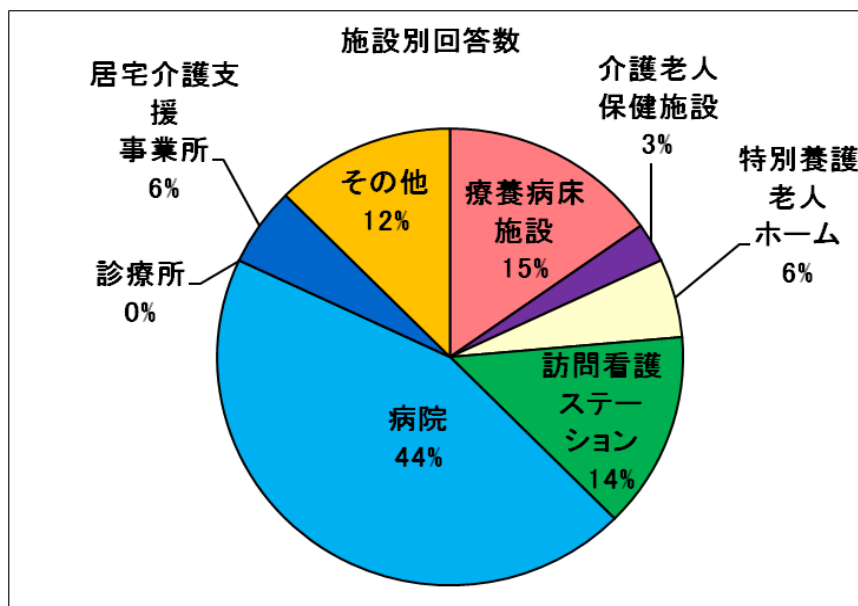
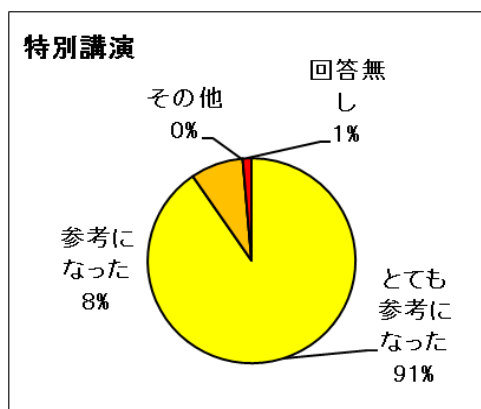
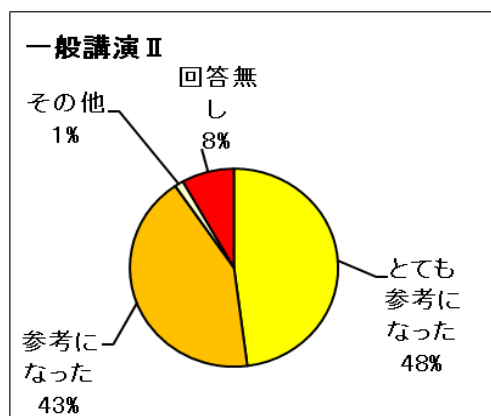
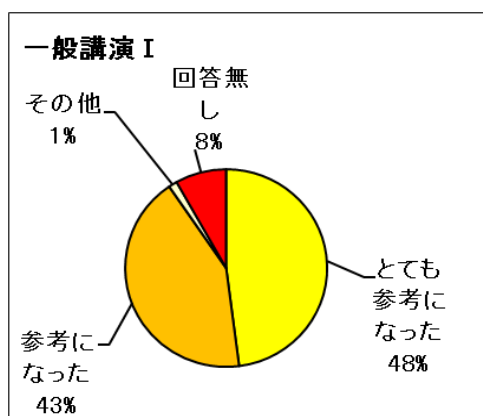


第3回慢性期医療を考える会アンケート結果

1 貴院・貴施設についてお答えください。



2 本日の講演について、それぞれご感想をお聞かせください。



・本日の講演について、ご意見等ございましたらよろしくお願い致します。

(主な意見)

- ・経管栄養の患者様の多い病院におりますので大変興味深く聴かせていただきました。
- ・経口食への移行がとても興味があった。
- ・内藤先生の話が印象的でした。もう一度自分の仕事を見つめなおしたい。

- ・自分自身のケアが大事だということ、共感しました。
- ・命の尊厳につき考えさせられました。ありがとうございました。
- ・気持ちよく聴かせていただきました。体の痛みを感じますね。少しずつ緩和できたらいいです。
- ・元気がでました。ありがとうございます。
- ・命の最期にどのように向き合うのか、改めて考える場になりました。現在ケアマネですが、もう一度訪問看護師に戻って患者さんの近くに行きたいと思いました。

3 今後、どのような内容の講演を希望しますか。

(主な意見)

- ・また緩和ケアについて聞きたい。
- ・終末期医療について、いかに人間らしくすごせるかをまた聞きたい。
- ・往診Dr.の話が聞きたい。
- ・会に参加している機関で、順番に活動報告を聞いてみたい。
- ・嚥下リハビリテーション、摂食障害についての講演。
- ・震災と医療、看護、介護のあり方。

4 慢性期医療における現在の問題点や病院・行政に対する要望などをお書きください。

(主な意見)

- 慢性期医療の施設と病院との意識の差がある。
「本日の田宮医師のように次の生活の場の医療従事者にある意味手段は託して欲しいと考えます。
本人・家族の意思と在宅ケアチームを信頼して欲しい。」
- 受け入れ施設が少ない。
「高度医療依存度の利用者の治療の一時休息を受けてくださる施設が少ない。」
「身寄り、介護者のいない老年期の方々が、急性期・慢性期・老健・老人病院をたらいまわしになっている。」
- 連携強化
「病院・老人施設との連携がもっとスムーズに行く連携の強化を望みます。」
- 現場の施設・人員不足
「療養型なのに家族が夜、泊まる場所がなく、最期を看取ることができない。」
「特養ホームの嘱託医不足について考えてください。」
「在宅診療医が少ないと思います。」
- 独居や1人暮らしの方に対して急性症状が出た時にどうするか本当に困る。